

被曝後のこれからを考える

子どもの健康と被曝について

黒部信一講演会

2部:黒部信一&菊地純子&佐藤和良
トークセッション

コーディネーター 鈴木さおり

2014年10月12日(日)

13:00 開場 13:30 開演～ 16:30 終了

場所:いわき市文化センター 4F 会議室

参加費:無料

原発事故から3年半が過ぎました。放射能は今も大量に放出され、大気や海洋を汚染し続けています。ますます厳しい状況下に暮らす私たちは、被曝の影響から身を守るために、なにを学び、実践すべきなのでしょう。低線量被曝を続ける子どもたちの健康を最優先に守るため、長年に渡り、内部被曝の影響から子どもを守る取り組みをされて来た、小児科医の黒部信一先生をお招きし、お話をさせて頂きたいと思います。

講演会の後には、トークセッションの場を設け、原発事故からの、子どもたちが置かれている状況を振り返りながら、私たちは今、子どもたちの未来のためになにをすべきなのかということを、多くの市民のみなさんと考え、話し合いたいと思います。

未来の子どもたちの健康と幸せを願うみなさんのお越しを、心より、お待ちしております。

黒部信一 プロフィール

1941年生まれ、中学(普通部)より慶應生、1960年医学部入学。

1966年慶應義塾大学医学部卒、41歳青年医師連合慶應支部長、小児科医師連合慶應支部長、小児科学会評議員、同学会規約改正委員を務める。卒業後、青医連運動に加わり、研修協約闘争に敗北。

1967年慶應病院小児科に入院。1968年国立埼玉病院小児科に勤務。1982年同病院小児科医長。1984年吹上共立診療所所長。2010年11月より堀ノ内病院勤務。現在に至る。

その際、小中学生のインフルエンザワクチン廃止運動(成功)、BCG反対運動(小中学生は廃止、今は乳児期だけとなる)、日本脳炎ワクチン反対運動、森永と三井乳中中毒のこともを守る会を支え、東京森永乳業に参加し、森永製品ボイコット運動をし、「光協会」という被害者救済機関を作ることと森永側と和解。また未熟児網膜症被害者の原告側鑑定と証人になり、一部勝訴したものの最高裁で敗訴。医療過誤訴訟では原告側の鑑定人と証人になり、今も続く。

医療でのX線撮影のすざんさんら、医療被曝低減運動を起こし、小中学校の胸部X線検査廃止運動に成功。その縁から、チェルノブイリ子ども基金に誘われ、現地に2回訪問。今は顧問となる。今年の3月11日の原発事故後、日本の子どもも救済しようと、「未来の福島子ども基金」代表。特に内部被曝の防止を目指し、飲食品の放射能測定所を支援。測定を開始し、10月からはホールボディカウンターも稼働予定。

小児科医としては、大学での研究を拒否し、臨床と筋であり、総合小児科を目指し、こどもの病気全般(外科治療を除く)の小児医療を行ってきました。また、診療所開業後、一般内科、心療内科(精神科ではない)を勉強し、催眠療法も手掛ける。

「未来の福島子ども基金」代表、「チェルノブイリ子ども基金」顧問。

著書に「原発・放射能 子どもが危ない」「院長先生のことがまちがいに児医療」などがある。



トークゲスト プロフィール

菊地純子

1949年生まれ。1971年国際基督教大学教養学部卒業、1975年東京教育大学文学部修士課程卒業。1981年筑波大学大学院歴史人類学研究所博士課程修了。ドイツチュービンゲン大学文学部で古代オリエント学、神学で旧約学を学ぶ。チュービンゲン大学研究助手、筑波大学講師を経て、現在青山学院助産短期大学、明治学院大学、日本キリスト教会神学校講師。日本キリスト教協議会ドイツ委員会委員長。

2011年3月の東日本大震災後、被災地の人々と同じ場所に入り、同じ目線で支援を考え実行している。子どもを守り育てる母親の存在の大きさをママカフェの必要性を強く感じ、応援する活動を積極的に行っている。

佐藤和良

「原発事故子ども・被災者支援法」推進自治体議員連盟 共同代表 「福島原発告訴団」副団長 1953年福島県双葉郡楳葉町(福島第二原発立地町)生まれ。1988年から脱原発福島ネットワークに参加。2004年からいわき市議会議員。福島原発の安全性問題などについて、20年以上前から東京電力との交渉を続けてきた。著書に「東電原発犯罪―福島・新潟からの告発」(創社社)などがある。

【関連サイト】

＊風のたより(個人ブログ) <http://skazuyoshi.exblog.jp>

＊佐藤和良 Facebook <https://www.facebook.com/kazuyoshi.satou.9>

＊福島原発告訴団 <http://kokuso-fukusimagenpatsu.blogspot.jp>

鈴木さおり

中学生と小学生の二人の子を持つ母親。仕事で近所の小学生に勉強を教えるがたわら、PTA役員や地域活動への参加などを通し、社会全体で子ども達を育てる事の大切さを実感している。有志の母親達と学校や幼稚園などの放射能空間線量測定を行い、行政に報告し対応を求める活動をしている。

日時：2014年10月12日(日) 13:00開場 13:00開演～16:30終了

場所：いわき市文化センター 4F会議室
(〒970-8026 いわき市平字堂根町1-4 ☎0246-22-5431)

アクセス：最寄駅 JR常磐線いわき駅 徒歩10分 駐車場:69台
<http://www.city.iwaki.fukushima.jp/map/1315/002551.html>

参加費：無料

主催：NPO法人いわき放射能市民測定室 たちね
〒971-8162 いわき市小名浜花畑町11-3 カネマンビル3F

問い合わせ：電話/FAX 0246-92-2526

E-Mail tarachine@bz04.plala.or.jp

ホームページ<http://www.iwakisokuteishitsu.com/>

託児サービスの ご案内



【対象年齢】2歳～
【料金】無料(定員あり・先着順)
【申込方法】FAX またはメールにてお申込みください。
FAX: 0246-92-2526 E-Mail: tarachine@bz04.plala.or.jp
※必ず申し込みをされてください。申し込みの多い場合はお受けできません。
託児申込締切日 10月8日 16:00 まで